

流川のかわばこくん

第7話 作:ミルルベっぷ 「日本初のバスガイド」



ここは名高き流川
(ながれかわー)
なさけもあつい
湯の町のメインストリートの大通り

旅館 商店 軒並び
夜は不夜城でございまーす



昭和30年代の別府流川通り



ここ別府 流川通りは
女性バスガイドの発祥の地です

1928年(昭和3年)1月10日に、
別府観光の父、油屋熊八さんが、
亀の井自動車(現在名・亀の井バス)を
設立しました。
その会社で日本初の女性バスガイドによる
案内付きの定期観光バスの運行を
開始しました。

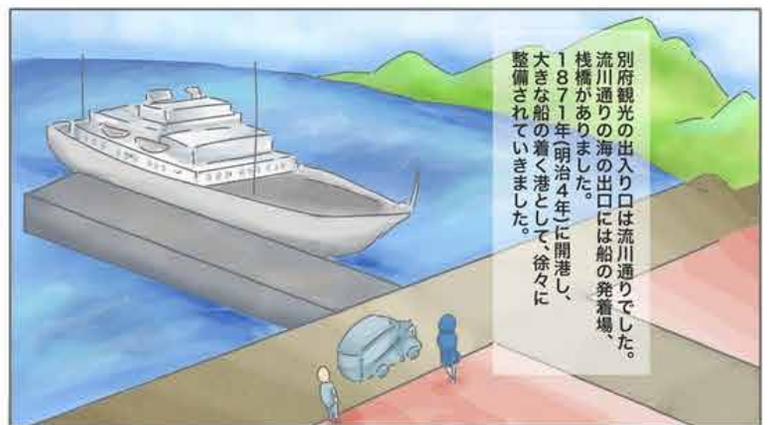
まだネットはおろかテレビもない時代、
観光客はあまり情報のないまま
観光地にやってきました。
そんなお客様を観光地に引率して
説明してくれる女性バスガイドさんは
大人気になりました。

51715調の特設的な紹介文をつくり
別府の観光地を紹介しました。
その中でも一番有名な紹介文が、
「ここは名高き流川」で始まる一説です。



お客様を案内するためにバスに若い女の子の
ガイドさんに乗せました。
これが日本初のバスガイドさんの誕生です。
ガイドさんは少女軍楽と呼ばれ、全国で話題に
なりました。

日本初のバスガイドさんの名前として、
村上あやめさん等の名前があります。



別府観光の入り口は流川通りでした。
流川通りの海の出口には船の発着場、
棧橋がありました。
1871年(明治4年)に開港し、
大きな船の着く港として徐々に
整備されていきました。



港はのちの1967年に
別府国際観光港として、
北部の広い場所に転移されました。
また、電車、車、飛行機の普及により、
訪れる観光客の交通手段も分散化され、
この場所での観光バスの乗車所は
なくなりました。

その後、港のあった場所は埋め立てられ、
現在は、ゆめタウン別府という商業施設に
なっています。

亀の井交通社の会社跡には、
「地獄めぐり遊覧バス発祥の地」の
記念碑が建っています。

記念碑のすぐ近くに別府温泉のシンボル
竹瓦温泉と、稲尾投手で有名な
波止場神社もあります。
流川通りをあかると、
油屋熊八さんゆかりの亀の井ホテル、
お食事処「熊八亭」もあります。
是非、別府に来た際は、
ご散策してみてください。



流川のガッパくん

第7話

作:三ルルベっぷ

「日本初のバスガイド」